

〔『法学新報』第29巻1(326)号 大正8年1月1日〕

○中央大学剣道部大会 都下学校剣道界の覇たる我中大剣道部は昨年遠山、山崎、萩原、小平の三段松野、川上、中野の二段を出し為めに其勢力に多大の影響を受く、偶々昨秋九月下旬に東京学生聯合剣道会にて関西遠征の挙あるや子爵渡邊七郎氏一行の監督として猛者を率ゐ京都大学、武徳会本部、武術専門学校、大阪医大、大阪武徳会等に奮戦して東都学生の氣を吐く而して我部よりは四段萱島初段鳩谷其選手として加はり萱島は一行の総大将の任に就けり本部第十三回大会は十二月一日午前九時より大講堂に開く、午前中本部員紅白勝負にては紅軍大将見上副将鳩谷白軍大将清水副将村上の組合せなりしか紅軍三将福原白軍の高橋、村上、清水を破りて紅軍の勝、後高点勝負の結果は福原六人を切りて一等太田五人を切りて二等と為り福原太刀一振を得、中等学校高点仕合にては独協竹内一等独協北島二等学習向山三等午後よりは専門学校の三本勝負にて重なる有段無検証勝負左の如し

学員 中野 讓 有信 古市 保 久松 村上長右衛門
 学員 長山 三郎 学員 佐藤八次郎 学員 石渡 信孝
 帝大 木村又一郎 錦警 近藤治三郎 明大 田島 二郎
 学員 萩原 銑次 学員 山崎祥次郎 校友 相浦 英六

早大 松隈 吉郎 有信 山本 智通
 帝大 波々伯部義就 本学 萱島 操
 最後の紅白勝負は白軍三将田島紅軍大将松隈を破りて大将萱島副将波々伯部の二不戦者を残して白軍勝高点勝負は一等(金牌)学習院北大路(七人を抜く)二等(太刀)本学萱島(六人を抜く)帝大波々伯部特に渡邊子爵より刀一口を受く尚当日は神道無念流五加中山師範今泉師範長谷川流居合中山師範神道夢想流杖術橋本中野及諸師範の模範仕合ありて六時閉会当日太田体育部長松本理事渡邊子爵等の御臨席を辱うしたるは我部の深く感謝する所なり(委員報)